

唐津

「新市誕生20周年記念」 ヘッドマーク付車両運行開始

唐津市の新市誕生20周年を記念して、昭和41年に運行していた『急行「からつ」』の車両に設置されていたヘッドマークをもとにリバイバル版のデザインで制作されました。

ヘッドマーク付の車両は、JR筑肥線区間を走行している国鉄復刻カラー103系車両などに取り付けられていて、令和8年1月頃まで走行予定です。

(10月28日)



相知

相知町にぎわいフェスタ with相知くんち

大正期まで曳かれていた高さ10メートルの豪華絢爛な大山笠2台による巡行が復活しました。午後は、相知市民センター前の特設ステージで大道芸やアニメソング、唐津東高生等によるバンド演奏、伊岐佐太鼓などの催しがあり、フィナーレには、777発の花火が打ち上げられ、会場周辺では山笠越しに花火が見られました。

(10月18日)



北波多

交通安全へカーブミラー清掃活動

北波多の稗田・大杉地区で交通安全指導員によるカーブミラー清掃活動が行われました。

この活動は地域の皆さんが安心して通行できる環境づくりを目的に毎年行われていて、指導員はブラシや高圧洗浄機を使い、汚れたミラーを手際よく清掃しました。視界がクリアになり、交差点やカーブでの安全性が向上しました。参加していただいた皆さんありがとうございました。

(10月24日)



七山

七山地区市民体育祭開催

第62回唐津市七山地区市民体育祭がコロナ禍や雨天中止などを経て6年ぶりに鳴神の丘運動公園グラウンドで開催されました。

小学生による1,000m走に始まり、幅広い世代が参加できるよう工夫された種目がプログラムされていて、各地区のみなさんがチーム一丸となって優勝を目指しました。

真剣に、時に笑いあふれる競技姿に、テントから大きな声援がかけられました。結果は、滝川地区が2大会ぶりに優勝しました。

(10月12日)



まちがどのリポート

第28回中島山笠祭が10月11日と12日の両日、晴天の下、厳木町中島地区で開催されました。この山笠祭は、昭和28年の大水害の影響で中断されていましたが、平成10年に地元の有志により復活され、今年で28回目を迎えました。松浦佐用姫を表に、見送りに大伴狭手彦の飾りをつけた高さ6メートル、重さ約3トンの大きな山笠です。

11日の午後は神事・式典のあと、最初の山笠巡行開始。曳き子の「エイサー」の掛け声が町中に響いていました。また、特設ステージではさまざまなイベントが行われ、大いに盛り上がっていました。地元の新米や農産物販売、ヤマメの塩焼きや飲食物の出店なども祭りの盛り上がりの一役をかっていて、関係者は、地域の人やボランティアで参加してくださった皆さんに大変感謝されていました。地域の絆や盛り上がり感が強く感じられる素晴らしい祭りでした。



今年も中島山笠祭開催

市民リポーター 小浜 義博



▲リポートはこちら

市長の ひとこと



新市誕生20周年イベントとして12月23日から来年1月23日にかけて市内各所で記念のフラットアップやLED照明を点灯します。1月18日には花火も打ちあがります！みんなで祝いましょ！

唐津市長 峰 達郎